

CAMPUS NET

特集

今ふたたび
ふれあいを大切に、学生生活を！



今ふたたび ふれあいを大切に、学生生活を!

学生同士や教職員とのふれあいはもちろん、地域住民の皆様とも相互にふれあい、心を通わせ合うことができるようになってきました。顔を見て語り合い、学び合い、つながって、皆がそれぞれに新しい気づきや刺激が得られるキャンパスライフの風景をお伝えいたします。

学生の明るい声が 聞こえる学び舎へ



看護学部長 川島 和代

みなさま、こんにちは、お元気でお過ごしでしょうか。3年以上もの行動自粛、マスクを通しての会話、毎朝の体調チェックで感染拡大の抑止に努めてまいりました。本当に粘り強くよく頑張ったと思います。互いにねぎらいあいたいですね。一方で、学生や教職員のみなさまが人との接触や会話することに躊躇をおぼえることはないでしょうか?表情が読みとりにくくコミュニケーションが円滑にできない、コロナ禍の後遺症かもしれません。

2023年5月8日以降COVID-19が感染症法上5類に位置づけられ、活動の制限が緩和されました。基本的な感染対策を講じながらも、日々の生活は個人の判断に委ねられるようになりました。本学でもCOVID-19対策会議を毎月欠かさず開催しています。国や県の感染対策を踏まえながら、教育・研究、社会貢献活動の範囲と方法について対応指針を発信してきました。今、学内は立ち入り制限なく講義室等の人数制限や玄関の体温計も撤廃しました。オープンキャンパスや大学祭、サークル活動、地域ケア総合センター事業などは対面で実施できるようになりました。学生たちの明るい声が聞こえる学び舎に戻っていきたいですね。互いに声をかけ、対話しましょう。

Postコロナと言ってもウイルスがなくなったわけではありません。私たちは蓄積されたコロナウィルスの特性や治療法、ケアの科学的な知見に学び、うまくウイルスと共存してまいりましょう。適切な環境整備、生活の仕方、ケアの方法を活用して過ごしていきましょう。満面の笑顔でかかわれるようになるまで。

サークル活動・自治会・ 大学祭・異学年交流・ 地域交流 応援します!



学生部長 米田 昌代
(母性看護学 教授)

5月より新型コロナウイルス感染症が5類感染症に移行されたことを機に本学も感染に注意しながらも、コロナ禍前のもとの学生生活にもどるべく、種々の活動を開始しています。

まずは、活動が停滞していたサークル活動では新たに3つのサークル(英語・バスケットボール・フットサル)が立ち上がり、現在、9つのサークルが活動しています。また、「看護大子育て応援隊ひよっこ」が高松地区で子ども食堂を開きたいとの強い思いで、サンかほくキッチンの方と連携・企画し、8月に大学内で子ども食堂を開催しました。子どもたちと学生の楽しそうな表情が印象的でした。加えて、9月には「救急ボランティアチーム」が救急フェア(かほく市主催)に参加し、子どもから高齢者の方まで多くの地域の方々とふれあうことができました。母性・助産看護学の企画としては、助産師の仕事、院生生活を知ってもらうために助産の修了生と院生、学部生が交流できる機会をもうけました。自治会では新入生歓迎会やスポーツ大会を企画し、異学年交流の場を作り、大学祭で金沢大学の学生さんとのコラボ企画でスープ作りにもチャレンジしました。大学祭実行委員会は10月の大学祭に向けて、繋(つなぐ)をテーマにコロナ禍で失われていたものをつなぐことができるように、また、地域の方々に楽しんでいただけるような企画となるよう日々準備に頑張りました。

これからも感染に留意しながらも地域の方等いろんな方とのふれあいを大切に学生の活動を応援していけたらと思っています。



フィールド実習

かほく市気屋地区をバズらせよう！ ～SNSをつかったPR～

松本 智里(成人看護学 准教授) 瀬戸 清華(基礎看護学 助教)

これまで長くかほく市気屋地区を舞台にフィールド実習を展開しています。今年度は、昨年度の学生が気屋を広く知ってもらうために作成したInstagramやTikTokのアカウントを活用し、20-30歳代をターゲットに気屋を「バズらせる」ことを目標に活動しました。学生と住民と一緒にどのような発信が可能か、発信によってどのような効果があればよいのか検討を重ねました。そして、気屋の初夏の魅力が一目でわかるデジタルパンフレット、訪問者目線でインパクトを重視した動画を作成し、発信しました。発信方法を工夫することで再生回数が伸び、過去の投稿へのいいね！も増えました。

学生は、現地に何度も足を運ぶことで、フィールド実習を一緒になって楽しんでくださる気屋の方々の温かさや、地区全体で農業に取り組み一丸となる姿に感動していました。年度の課題を引き継ぎながら、学生と住民とが力を合わせ、気屋の課題に楽しんで取り組んだ結果、MIP賞*を受賞でき、学生も住民の方々も大変喜んでいました。今後も季節ごとに、学生目線で気屋の魅力を発信していきますので、お楽しみください。

*MIP賞：Most Impressive Presentation 賞



デジタルパンフレット



夏のオープンキャンパス

夏のIPNUを彩った 笑顔のオープンキャンパス

大橋 史弥(老年看護学 講師)

4年ぶり、かつ完全対面での夏のオープンキャンパスを7月15日に開催しました。高校生・保護者355名の参加と、本学学部生・教職員との活発な交流により、多くの笑顔があふれるひと時となりました。学部生は、「本学の魅力を高校生に知ってもらいたい」と意気込み、笑顔でのお迎えを心がけ準備をしてきました。

内容は、大学説明会、模擬授業、キャンパスライフ紹介、看護体験、個別相談会、施設見学などです。そして本学初の試みとして、研究ミニイベントを開催しました。参加者は、研究ミニイベントで大学教員の仕事(研究)に触れ、学術をどのように創成し臨床の場へ貢献していくのか体験しました。

参加者からは、「大学の雰囲気や良さを知る体験に参加できた」、「設備が充実していて様々な経験ができそうだった」、「大学の魅力が伝わり大学生活に期待が高まった」などの意見があり、本学での輝かしい大学生活を想像できたようです。



学生自治会

学年間の絆の復活を目指して 体育館を活用した 異学年交流イベントの開催

千田 明日香 (基礎看護学 助教)

自治会はコロナ禍で制限されていた異学年交流の復活に向けて、体育館で様々な企画を行いました。4月8日は「桜ウォーク」で1年生に高松地区を案内しながらウォーキングをする予定でしたが、生憎の荒天でした。代わりに体育館でドッチビー大会を行いました。各試合の熱い展開に皆が盛り上がりました。6月29日は体育祭としてふわふわボールを使用したドッジボール大会を行いました。1年生～4年生、教員や短期留学生のMashiさんも参加してチームを組み、皆で楽しみながら優勝を目指しました。各学年とも授業や実習で忙しい日々が続きますが、自治会では異学年交流がますます活発になるようさらなる企画を提案していきたいです。



サークル活動

子育て応援隊ひよっこ 小学生対象「夏休みハーフ学童」初開催!

千原 裕香 (小児看護学 講師)

8月9日、子育て応援隊ひよっこは、七塚のサンかほくキッチンとタッグを組み、「夏休みハーフ学童」を石川県立看護大学で開催しました。大学が位置する高松地区に住む小学生44名が参加しました。サンかほくキッチンのご指導のもと、学生が考案したメニュー（豚丼、やみつきピーマン、トマトスープ）を学生たちが準備し、子ども達と一緒に楽しく昼食を食べました。昼食後は、夏休みの宿題を進めるお手伝いをしたり、体育館でモルックなど体を動かす遊びをしたりしました。子どもたちからは「おいしかった!」「楽しかった。また来たい」との声が聞かれました。保護者の方からも「近くの大学内で活動できて嬉しそうだった」と意見があり、子育て応援隊ひよっこにとって初の小学生を対象にした活動は大成功でした。

これからの看大祭

繋～新たな時代を一步ずつ～

野沢 ゆり乃 (母性看護学 助教)

第24回石川県立看護大学大学祭は10月21日に行われ、約500名の方にご来場いただき、来場者様・学生ともに楽しそうな様子が見受けられました。

第24回大学祭スローガン(タイトル)には「異学年や地域の方々との交流を通して人と人の繋がりを大切に+新たな取り組みの第一歩として人と人との繋がりのきっかけにしたい」といった大学祭実行委員の願いが込められていました。その願いの通り、模擬店やステージ企画ではかほく市の方々に参加いただき、とても活気のある大学祭となりました。「コロナ禍前のように、今年度は規模を拡大して大学祭を行いたい」と熱心に取り組む学生の姿に教員も感銘を受けました。次年度の大学祭も、学生皆さんで新たな時代を作って欲しいと思います。





教授 濱 耕子
Kouko Hama

母性看護学、女性看護学

PROFILE

長崎市に家庭分娩で生まれる。長崎大学大学院医歯薬学総合研究科公衆衛生学分野博士課程修了(医学博士)。長崎大学助産学特別専攻助手、県立長崎シーボルト大学助手、三重大学准教授、愛媛大学大学院教授を経て2016年～現職。

産前産後の身体の不調に対応できる全機能一体型アンダーウェアの開発

日本では妊娠5ヶ月の安産祈願に始まり、母体やお腹の赤ちゃんの保護、産後の身体回復のために母親が腹帯を着用する習慣があります。

近年、出産適齢期の女性に痩せや肥満、仕事を持つ者が増えるなか、産前産後において腰痛などの不調が起こりやすく、その予防や軽減のために腹帯によって正しい姿勢を取る必要性が高まっています。一方、妊婦健診先で腹帯の着用方法を習う機会は限られており、腹帯の選択は母親に任されています。そのようななか、母親が育児生活、社会活動や仕事で継続的に利用できる産前産後の全機能一体型アンダーウェアの開発に向けて、他大学と協力しながら本学着任時から研究に取り組み始めました。

先ず基礎調査として出産未経験の若い女性が骨盤部にベルトを付加した筋力サポートアンダーウェアを2週間着用した結果、保温性の高まりとうなじの「こり」や腰痛の軽減が確認でき、同時にその部位の血流が改善しました。

当調査を通じて、卒業研究の計画立案や参加対象として経験をした学生に教育的な関わりもできました。

今後は、アンダーウェアの効果を産後の母親から評価することで身体への効用を把握し、将来的には開発した産前産後の全機能一体型アンダーウェアを子育て支援・女性の社会での活躍推進など幅広いサポートに役立てたいと考えています。



今年3月に九谷陶芸村で人生初の陶芸にチャレンジしました。気持ちの浄化と精神統一ができ、素敵な時間を過ごせました。出来上がったカップで紅茶を淹れるのが日課です。



准教授 市丸 徹
Ichimaru Toru

神経内分泌学

PROFILE

富山市生まれ。東京大学農学部獣医学科卒業。東京大学大学院農学生命科学研究科修了。博士(獣医学)。ポスドク研究員、福井大学助教を経て2015年より石川県立看護大学講師、2019年より准教授。

生殖機能の中枢制御機構の解明

ヒトや動物の生殖機能はホルモンによって調節されており、その分泌は視床下部-下垂体-性腺軸の支配下にあります。例えば、過度のダイエットやストレスによって生理が止まる・遅れるなどの現象が知られていますが、これらは視床下部が体内・体外の情報を処理して、種の存続より個体の維持を優先すべきと判断し、生殖器系のはたらきを抑制させるために起こると考えられています。このとき、性腺(卵巣や精巣)への指令はLHというホルモンのパルス状分泌を介してなされます。面白いのは、ホルモンが多いか少ないかよりも、その変化のリズムの方が重要であることです。LHパルスのリズムが早くなると卵胞発育は促進され、逆に遅くなると抑制されるのです。この視床下部にあってパルスのリズムを決めている神経機構をGnRH pulse generator (GnRH PG) といい、これこそが生殖中枢と考えられています。リズム発生の仕組みにはまだまだ謎が多

いのですが、これまではヤギを用いて、多ニューロン発射活動(Multi-unit activity: MUA)記録法によるGnRH PGの活動動態や影響する因子の探索を試みてきました。現在はラットでのMUA記録法確立を目指しています。



趣味は写真。R3年2月、犀川でイタチに出会いました。潜ったそばから魚を獲ってくる優秀なハンター。一期一会。石川県の自然を撮ってみたいです。

新任教員紹介

今年、赴任した先生方です。
よろしくお願いいたします。

①出身地 ②前任 ③現在の仕事内容 ④趣味



南條 裕子 基礎看護学 講師

- ①岩手県花巻市
- ②東京大学医学部附属病院
- ③1、2年生を対象とした看護の基礎技術や態度を習得するための授業と実習指導を担当しています。
- ④音楽を楽しむこと、海外を旅すること（コロナ後は行けていませんが）。



戸部 浩美 小児看護学 教授

- ①群馬県渋川市・茨城県牛久市
- ②東京大学大学院医学系研究科付属グローバルナースングリサーチセンター
- ③育児を楽しみ、親自身の成長と癒しの機会にできるように研究や教育を通して応援しています。学生がグローバルな視点を持って活躍できるようにサポートしています。
- ④瞑想・ヨガ・歌・チェロ・聖書を読むこと・英語を教えること。



臺 美佐子 成人看護学 教授

- ①千葉県旭市
- ②藤田医科大学 社会実装看護創成研究センター
- ③がんや慢性的な疾患を有する方々への看護について、教育や研究を行っています。特に、浮腫ケアチームを結成し、「むくみ」を専門的に探究しはじめました。
- ④パンを手作りしておいしく食べること。



嶋 雅奈恵 地域看護学 助教

- ①富山県高岡市
- ②石川県能登中部保健福祉センター
- ③地域看護学の講義・演習・実習の運営に携わっています。現場経験を活かした研究を推進していきたいと思っています。
- ④エアリアルヨガ。



高濱 圭子 精神看護学 助教

- ①長崎県長崎市
- ②長野県看護大学
- ③精神疾患に罹患した方への支援の研究をしています。現在、アルコール依存症から回復した方、便秘の入院患者さんに関する研究に取り組んでいます。
- ④読書。ミステリーが好きですが、残酷な場面があると諦めます。



大貝 和裕 共同研究講座 看護理工学 教授

- ①石川県輪島市（すぐに金沢に来ました）
- ②金沢大学 医薬保健研究域保健学系
- ③在宅高齢者が安心して暮らせるための「セルフ健康モニタリング」方法を開発しています。具体的には、採血なしで血液生化学検査ができる装置や、AIによる異常検知の開発です。
- ④昔はパソコンやプログラムで遊んでいましたが、最近ではハムスターを愛でています。



佐能 唯 情報科学 講師

- ①石川県七尾市
- ②株式会社アイ・オー・データ機器
- ③講義にて、1年生では情報処理学、2年生では保健統計学を教えています。研究は、病気の人や高齢者の転倒予防のための歩行解析を行っています。
- ④ピアノ、編み物、ピアス作り、ペーパークラフトなど何かを作ることが好きです。



石井 和美 基礎看護学 講師

- ①石川県
- ②金沢医科大学看護学部
- ③主に1、2年生を対象に基本的な看護技術を習得するための科目を担当しています。基礎看護学実習では、学生と病院へ行き、実習の調整や学生の指導をしています。
- ④ドラマや映画を観ること。



西 真理子 小児看護学 助手

- ①石川県小松市
- ②めぐみクリニック
- ③小児看護学実習に携わっています。様々な事情があり、子どもを育てることができず、養子縁組に子どもも託す母親への支援に関する研究に取り組んでいます。
- ④温泉や道の駅巡り、カラオケ、料理、スポーツ観戦（特にバスケット）。



近藤 考朗 老年看護学 助教

- ①富山県砺波市
- ②公立学校共済組合北陸中央病院 看護師
- ③老年看護学の先生方と共に、お年寄りの方々に対する理解を深めるための授業や病院実習を担当しています。また、認知症患者さんに対する研究にも取り組んでいます。
- ④スポーツが大好きで、広島東洋カープや富山グラウジーズの応援が趣味です。



山路 朋子 在宅看護学 助教

- ①石川県河北郡津幡町
- ②金沢医科大学病院
- ③教員のお仕事は初めてなので、同じ領域の先生方に教えてもらいながら在宅看護学の実習や講義、演習のサポートを行っています。看護の魅力を少しでも伝えていきたいです。
- ④手芸や工作。



石井 光子 看護キャリア支援センター 特任講師

- ①東京都新宿区
- ②国立研究開発法人 国立国際医療センター病院（現在出向中）
- ③2024年度に皮膚・排泄ケア認定看護師教育課程の認定看護師教育機関開校を目指して準備をしています。これまでの病院での経験を活かし、スペシャリストの養成に取り組んでいます。
- ④体を動かすことが大好きです。白山の登山に挑戦してみたいと思っています。



長谷川 陽子 共同研究講座 看護理工学 准教授

- ①宮崎県宮崎市
- ②東京大学医学部附属病院（管理栄養士）
- ③地域在住者が健康で長生きできる社会の実現を目指し、栄養学と看護理工学を融合させ、地域在住者が自分で栄養や健康の状態を評価できるセルフモニタリングツールを開発しています。
- ④ドライブ、息子と遊ぶこと、美味しいものを食べること。



EVENT

Withコロナから Postコロナへの統合実習

今年度の統合実習は7月18日～28日に県内8カ所の病院で実施されました。コロナ禍で3年前は全く臨地に行けない病院もありました。そこから病院と大学でオンラインやハイブリッド形式などの工夫を毎年重ねていき、今年はずべての病院で外来と病棟の両方の実習を行うことができました。対面で実習させていただけることのありがたさと同時に、オンラインならではの学習方法のよさを実感できた3年間でした。



EVENT

3年ぶりに対面の消防訓練を 実施しました

新型コロナウイルス感染症への感染対策のため過去3年間の消防訓練ではシェイクアウト(県民一斉防災訓練)のみ実施し、全学一斉の避難訓練や水消火器を使用した消火訓練については実施できておりませんでした。今年度は行動制限の緩和にあわせて、新型コロナウイルスの流行前に近い形式での消防訓練を7月11日に実施しました。4年ぶりの実施だったためか必ずしもスムーズな訓練実施とはなりませんでした。無事終えることができました。ご参加いただきました方々、ご協力ありがとうございました。



TOPICS

8月にDoorenbos教授が 来学しました!

アーディス・ドールンボス教授(イリノイ大学シカゴ校)が8月21日～25日の5日間にわたって来学し、大学院生と学部生それぞれに講義や研究指導を行って頂きました。また、「Career Cartography: Career Mapping to Increase Impact」をテーマに海外招聘特別講演会(公開)を開催しました。参加者は自身のキャリアマッピングをイメージし「前に進める!」と実感できた様子でした。久しぶりに学内に国際交流の雰囲気がいよ、わくわくした気持ちになりました。



附属施設 INFORMATION

附属図書館

ラーニング・commons(がんばルーム)を活用しよう!

ラーニング・commonsをご存じですか。図書館は本を借りる場所から、学修を多方面から支援する場所へと変貌してきております。図書館では静かに学習をすることが求められますよね。しかし、ラーニング・commonsは単なる自習室ではありません。パソコンの持ち込みができ、学友と話しながら楽しく学修できます。是非、この場所を使ってみませんか。(飲食や大騒ぎはできませんが・・・)



地域ケア総合センター

eスポーツ調査で高齢者と学生との交流

今年度は対面開催が増え、様々な事業を実施しています。その一つとして、かほく市との包括的連携事業の一環で市から依頼を受け、eスポーツにおける高齢者の認知機能改善の効果検証を行うことになりました。地元高齢者のご協力の下、対戦型のパズルゲーム「ぶよぶよ」に取り組み、前後で認知機能等を測定しました。この体験会から測定までを卒業研究のゼミ学生及び大学院生10名がルール説明や体験指導、測定に関わり、高齢者と相互の交流を深めることができました。



看護キャリア支援センター

看護師のキャリアアップを支援します

当センターでは看護師のキャリアアップを支援するために様々な研修を行っています。また2024年度には「皮膚・排泄ケア認定看護師教育課程(B課程)」の認定看護師教育機関を開校予定です。超高齢社会で、病院・地域で特定行為のできる皮膚・排泄ケア認定看護師のニーズは高くなっています。幸福寿命の延伸のために、看護師の皆様の入学をお待ちしております。研修に関するお知らせはホームページに掲載しておりますので、ご参照ください。



ホームページはこちらから
ご覧いただけます



ホームページを 年内にリニューアルします！

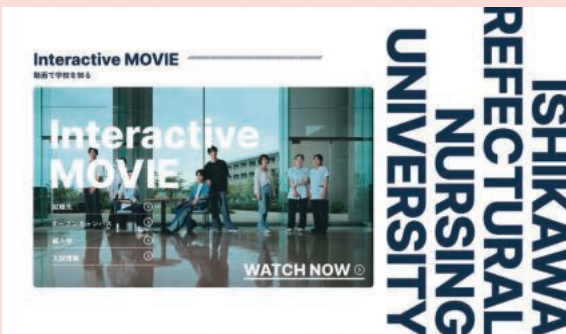
スマホで見やすく快適に！

新しいホームページはスマホに最適化。
縦に長いスマホの画面に合わせた構成になり
見やすくなります。



石川県立 看護大学

ISHIKAWA PREFECTURAL NURSING UNIVERSITY



インタラクティブ動画で魅力発信

動画から動画へと繋がるインタラクティブ動画で、
本学の魅力・特徴をインタビュー形式で
学生と教員がお伝えします。

メニューを分かりやすく一新！

本学ホームページのメニューを一新。
豊富なコンテンツを整理し、
欲しい情報が探しやすくなります。

※公開時のサイトは上記と
異なる場合があります。



令和5年度 後期 キャンパススケジュール (予定)

卒業研究発表会 12月21日(木)

春季休業 2月22日(木)～

冬季休業 12月22日(金)～1月4日(木)

卒業式・学位授与式 3月16日(土)

補講・試験 2月13日(火)～21日(水)



石川県立看護大学グローバルはまなす基金



開学から20年が過ぎた今日、社会や家族の変化、医療経済の危機に対応した医療の再編が間近いとの声が聞こえてまいります。本学では今後ますます時代や地域にあった看護師・保健師・助産師を輩出する努力を重ねる所存です。そこで、学生・大学院生の国内外研修を推進する事業や、教育・研究活動において地域社会に貢献する事業を推進することを目的に、「グローバルはまなす基金」を設立しました。趣旨にご賛同いただける方からのご寄附をお待ちしております。

お申込み・お問合せ先（石川県立看護大学総務課）076-281-8300

